

# 市民と議会をつなぐ意見交換会

本市議会では、「市民の多様な意見を把握する」という議会基本条例の規定を踏まえ、市民の意見を議会活動に反映させることを目的として、3月14日(土)に市民と議会をつなぐ意見交換会を開催し、多くの皆様にご参加いただきました。

3会場に分かれて開催した概要を報告します。

## 総務財務委員会 【テーマ：地域おこし協力隊について】



地域おこし協力隊の制度や活動についての理解を深める必要性が確認された。

本市の魅力発信と将来を見据えた施策が求められている。協力隊員が地域と連携して地域おこしを成功させることで、隊員・地域・魅力発信・本市の活気につながると認識した。今後、この連携を支える行政サポートのあり方を検討する。

## 厚生文教委員会 【テーマ：日常生活における移動支援について】



市街地以外ではバス減便と待機負担が課題で、バス事業のみでは不十分なこと、デマンド交通は利用制限や担い手不足の問題があること、市街地でも移動支援が必要であり、地域に応じた支援体制の構築が必要であることが明らかになった。

尾道市や大崎上島町の選択可能な手法やボランティア事業が参考になった。

## 経済建設委員会 【テーマ：広島空港を活かした賑わいづくりについて】



空港周辺の魅力ある資源は認知度が低く、アクセスが課題で、活用が不十分である。空港エリアを観光拠点としてだけではなく、市民の身近な日常利用エリアとしても位置づけ、情報発信強化と交通アクセス改善を一体的に進める必要がある。子育て世代や高齢者など多様な利用者に対応した環境整備により、継続的にぎわい創出につながると考えられる。

詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

